

講演概要の書き方(14 ポイント)

Format for presentation summary (12 point)

低温 太郎, 磁場 高雄(低温工学会); 超伝導 花子(低温工学協会) (9 ポイント)
TEION Taro, JIBA Takao (CSJ); CHODENDO Hanako (CAJ) (9 point)
E-mail: teion@csj.or.jp (9 point)

1. はじめに(9 ポイント)

講演概要は、予め講演内容を聴講者に徹底させ、質疑応答を有効に行うためのものです。また、来聴できない会員に対する速報としての役割も兼ね備えています。その内容は、講演を聴かなくてもある程度理解できるものでなければなりません。講演概要の文頭 200 字程度が JST (科学技術振興機構) のデータベース[1]に入力されます。緒言において研究内容が把握できるようにご配慮ください。(9 ポイント)

2. 英文対応

低温工学・超伝導学会[2]では国内外への情報発信を積極的に進める活動の一環として、概要集の図面等の英文化を推奨しています。題目、氏名等への英文表記の併記、また、図表等のキャプション、参考文献の英文表記にご協力ください。ちなみに、低温工学・超伝導学会講演概要集の英訳は、「Abstracts of CSSJ Conference」です。

3. 講演概要のレイアウト

講演概要の書き方に、口頭講演、ポスターの区別はありません。原稿は一般講演の場合一律に 1 題目について A4 判 1 頁とします。

A4 判用紙の余白は、左右 2.0 cm、上下 2.0 cm とします。この 17.0 cm × 25.6 cm の枠内に書いてください。1 行目に和文題目、2 行目に英文題目、1 行空けて氏名、所属を記してください。姓と名前の間には半角スペースを入れること。改行して所属と氏名の英文を併記してください。氏名、所属から 1 行空けて本文を書きはじめてください。本文は 2 段組とします。段の間隔は 2 文字分あけてください。

4. 所属

所属は略称を使用して下さい。講演者(著者)の所属が複数にわたる場合は、所属ごとにコンマ区切りで著者をまとめ、最後に括弧書きで所属を記入してください。所属が異なる著者との間はセミコロンで区別してください。登壇者/発表者には必ず下線を引いてください。

5. 文字の大きさ、フォント

文字の大きさは、和文表題が 14 ポイント、英文表題が 12 ポイント、それ以外は 9 ポイントです。フォントは、MS 系のフォントをお使いください。表題、章、節等は MS Pゴシック、本文は MS P明朝を推奨します。このフォントをお持ちでない方は MS ゴシック、MS 明朝でも結構です。

6. 図表

図(写真)および表は、用紙枠内に配置し、本体、キャプションとも英文で表記してください。図表等の細かい記載方法は低温工学誌「投稿規定」の執筆要領に準拠してください。ただし、図表の横幅は、1 カラム、あるいは 2 カラムに揃えてください。

印刷物に必要な解像度は 200 dpi 以上です。通常のモニタ / ディスプレーの解像度は 72 dpi です。したがって、原稿を原寸表示してディスプレイで綺麗に見えていても印刷に適しているとは限りません。実際はめ込みたい画像の横(縦)幅の約 3 倍の大きさの画像を原寸(100 %)表示で用意



Fig.1 Logo of Cryogenic Association of Japan (9 point)

して縮尺すれば、200 dpi の解像度が確保されます(正確には 216 dpi)。これを指針になるべく印刷品質が高くなるような画像をご用意ください。

印刷は白黒印刷となります。カラー図面の場合は、白黒印刷でも区別できるようご配慮ください。

7. 電子ファイル入稿

講演概要原稿は電子ファイルでの入稿となります。紙での郵送は受け付けません。

学会告知ページにファイル入稿システムへのリンクがあります。

8. 講演概要原稿締切

締切までに必ず入稿してください。

なお、締切以降の原稿の訂正は認めません。慎重に原稿をチェックしてゆとりをもって提出してください。

参考文献

1. A. Sato, et al.: Abstracts of CSJ Conference, Vol. 62 (2000) p.272
2. A. Sato, et al.: Abstracts of CSJ Conference, Vol. 63 (2000) p.44